

○各戦略における今後の主な取組みとPTの関わりについて

戦略	進捗状況と主な成果	今後の主な取組み
<p>(1)ウェルビーイング戦略</p>	<p>(ウェルビーイングの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルビーイング県民意識調査の実施</li> <li>・<b>ウェルビーイング指標を策定</b>、県民のウェルビーイング状態把握</li> <li>・ウェルビーイング指標の<b>政策形成プロセスへの反映を決定</b></li> <li>・ウェルビーイングの県民への普及啓発</li> <li>・県職員自身のウェルビーイングへの意識向上を図るため、県庁内広報を実施</li> </ul>	<p><b>【実行段階】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルビーイング指標を県の政策形成プロセスで活用し、多様なニーズに届く施策を実現</li> <li>・ウェルビーイング指標を七色の花に見立て、わかりやすく発信</li> <li>・県民自らのウェルビーイングが高まる行動や取組みを後押し ⇒ 先例のない新たな課題への対応であり、<b>引き続き、県とPTが一体となって取組みを議論、検証</b></li> </ul>
	<p>(若い女性のウェルビーイング向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>少子化対策・子育て支援専門部会を設置</b></li> <li>・喫緊の課題である「少子化対策」「子育て支援」についての<b>緊急パッケージを実施</b>(9月補正)</li> </ul>	<p><b>【実行段階】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者の意識改革、働き方改革などにより、就職期の女性が、富山県で就職し、生活したくなるような環境づくりを推進</li> <li>・子どもを持つことを意識しはじめる年齢層に響く子育て支援施策をさらに強化 ⇒ 新たな課題への対応であり、<b>引き続き、県と専門部会が一体となって取組みを議論、検証</b></li> </ul>
<p>(2)まちづくり戦略</p>	<p>(官民連携による富山らしい個性的なまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりのモデルケースの創出に向けた支援の実施</li> <li>・新たな官民連携によるまちづくり、人材の育成・集積を推進する中間支援組織として<b>「しあわせデザイン」が設立予定</b></li> </ul>	<p><b>【実行段階】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>県(官民連携・規制緩和推進本部(仮称))と市町村、しあわせデザイン、まちづくり支援組織とが連携し</b>、これまで対応が困難であった、分野横断的で多くの関係者に関わる、まちづくりプロジェクトの推進、各地域の特色を生かしたボトムアップのまちづくり事業を推進 ⇒ 県の取組み、まちづくり支援組織等への支援などについて、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>
	<p>(持続可能な魅力ある田園地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な魅力ある田園地域づくり」について、集中的に検討する<b>専門部会を設置</b></li> </ul>	<p><b>【検討を深掘り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な魅力ある田園地域づくり(=美しい過疎地域の景観の保全、快適で居心地の良い暮らしの創出、求心力の向上など)に向けて必要な取組みを整理し、検討 ⇒ 新たな課題への対応であり、必要な取組みについて<b>専門部会で議論、検証</b></li> </ul>
<p>(3)ブランディング戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「寿司」に焦点を絞り、「富山＝ウェルビーイング」のイメージを発信していくことを決定</b></li> <li>・県において、情報発信のあり方を検討し、県のブランディングを強力に推進するため、<b>ブランディング推進本部を設置</b></li> </ul>	<p><b>【実行段階】</b></p> <p>ブランディング推進本部が中心となって、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「寿司と言えば、富山」を象徴する場の創出と発信を実施</li> <li>・デジタルマーケティングや民間ノウハウを活用した効果的・戦略的な広報・ブランディング方法を検討 ⇒ 県事業やブランディング推進本部の取組みなどに対して、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>

(4) 新産業戦略	<p>(アルミ・くすり、リサイクル)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とやまアルミコンソーシアムにおいて、<b>カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに関する研究開発</b>を実施</li> <li>富山大学による、<b>産学官金連携アルミリサイクル開発拠点の整備</b>への支援</li> <li>「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおいて、産学官が密接に連携し、<b>医薬品分野における研究開発や専門人材の育成を推進</b></li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンソーシアムが中心となって、アルミ・くすり、リサイクル等の産業競争力強化に向けた連携事業を推進 ⇒ コンソーシアム等の取組みなどに対して、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>
	<p>(デジタル・DX)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>DX・働き方改革推進本部を設置、基本方針を策定</b></li> <li>先進的なデジタル技術を活用して<b>地域課題を解決する実証実験プロジェクト</b>を募集 → 独創性・新規性を有する<b>提案7件を採択</b></li> <li>IoTコンソーシアムにおける<b>成功事例の動画作成</b>などにより、県内企業のデジタル技術を活用した<b>企業変革を推進</b></li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県DX・働き方改革推進本部が中心となって、デジタル産業の振興・創出に向けた、企業や地域社会におけるデジタル技術の活用促進や実証実験の誘致を推進 ⇒ 県DX・働き方改革推進本部の取組みなどに対して、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>
	<p>(カーボンニュートラル)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年カーボンニュートラルの実現に向け、足下から2030年度までに実施すべき取組みを描く「<b>富山県カーボンニュートラル戦略</b>」を策定、国を上回る意欲的な<b>温室効果ガスの排出削減目標を設定</b></li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県カーボンニュートラル推進本部が中心となって、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進 ⇒ 県カーボンニュートラル推進本部の取組みなどに対して、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>
	<p>(その他の分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自立した経済圏」、「人材育成、公教育の強化」について、<b>PTで重点的に議論、必要な事業を予算化</b></li> </ul>	<p>【検討を深掘り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方から、ESG(環境・社会・ガバナンス)など国際標準化時代をリードするための取組みを、整理・検討</li> <li>ウェルビーイング社会の実現に向けた、<b>クリエイティブ人材の育成・集積のための取組み</b>を検討</li> <li>新しい価値を生む、デザイン思考による新たな商品開発の促進に向けた取組みを検討 ⇒ 新たな課題への対応であり、必要な取組みについて<b>PTで議論、検証</b></li> </ul>
(5) スタートアップ支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>職住一体の施設「<b>SCOP TOYAMA</b>」を開設し、創業支援サービスを提供</li> <li><b>T-Startup支援対象企業6社を選定</b>し、突き抜けた成長性のあるスタートアップを集中的に支援</li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上場に対する起業家の意識を高めるとともに、ロールモデルの創出を図る</li> <li>スタートアップ・エコシステムの形成に向けて、県内企業・団体が行う創業・スタートアップ支援を促す取組みの推進</li> <li>金融教育の推進 ⇒ 先例のない新たな課題への対応であり、<b>引き続き、PTと県が一体となって取組みを検討・推進</b></li> </ul>
(6) 県庁オープン化戦略	<p>(県庁組織の活性化、働き方改革の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度<b>県庁活性化方針の策定</b></li> <li><b>ジョブチャレンジ制度、庁内複業制度の創設</b></li> <li><b>官民協働事業レビューを本格実施</b></li> <li>専門コンサルによる<b>伴走支援を行いながら働き方改革を実践</b></li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度県庁活性化方針に基づき、県庁組織の活性化と職員のウェルビーイングの向上につながる取組みを推進するとともに、組織の垣根を越えて活躍する越境人材を育成</li> <li>働き方改革の優良事例の横展開</li> <li>職員の「県の広報担当」としてのマインドとスキルの醸成 ⇒ 新たな課題への対応であり、<b>引き続き、県とPTが一体となって取組みを議論、検証</b></li> </ul>
	<p>(デジタル化を活用した住民サービスの向上・住民参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>DX・働き方改革推進本部を設置、基本方針を策定</b></li> <li>手数料等納付を伴う行政手続きの<b>電子申請・電子納付を開始</b></li> <li>オンラインで書類内容確認、合意締結が可能な<b>電子契約を導入</b></li> </ul>	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DX・働き方改革推進本部が中心となって、デジタルプラットフォームの整備などにより、住民サービスの向上や住民参加、行政の効率化を推進 ⇒ DX・働き方改革推進本部の取組みなどに対して、<b>必要に応じて、PTから提案</b></li> </ul>